

## ◆ 今週のコメント

- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(70歳代男性)(第19週追加分)あり、症状は発熱・咳嗽・肺炎です。推定感染地域は国内で、推定感染経路は塵埃感染です。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(90歳代女性1例, 10歳代男性1例)(2例とも第19週追加分)あり、本年の累積報告数は13例となっています。2例とも症状は尿路感染症、推定感染地域は国内、推定感染経路は不明です。
- 急性脳炎の報告が1例(60歳代女性)あり、症状は発熱、頭痛、意識障害、髄液細胞数の増加です。推定感染経路は国内、感染経路は不明です。
- クロイツフェルト・ヤコブ病の報告が1例(60歳代, 女性)(第19週追加分)あります。症状は進行性認知症・錐体路症状・錐体外路症状・視覚異常・筋強剛で、推定感染地域、推定感染経路は不明です。本疾患の届出基準や届出に必要な要件等については、下記のホームページを御覧ください。  
○厚生労働省「クロイツフェルト・ヤコブ病 感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について」  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01-05-05.html>
- 梅毒の報告が2例(20歳代男性, 40歳代男性)あり、推定感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は19例となっています。梅毒の感染経路、症状、予防等については下記URLを御参照ください。  
○梅毒に関するQ&A(厚生労働省ホームページ)  
[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html)

## ◆ 今週のトピックス:<後天性免疫不全症候群>

- 京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、毎年四半期ごとのAIDS患者・HIV感染者数を公表しています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 6例(肺結核 3例, 潜在性結核感染者 3例, その他結核 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 140例(肺結核 71例, その他結核 16例, 潜在性結核感染者 53例)うち喀痰塗抹陽性 35例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 3例】(第19週追加分)
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2例【1月以降の累積報告数 13例】(2例とも第19週追加分)
- 五類:急性脳炎 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類:クロイツフェルト・ヤコブ病 1例【1月以降の累積報告数 2例】(第19週追加分)
- 五類:梅毒(早期顕症)2例【1月以降の累積報告数 19例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

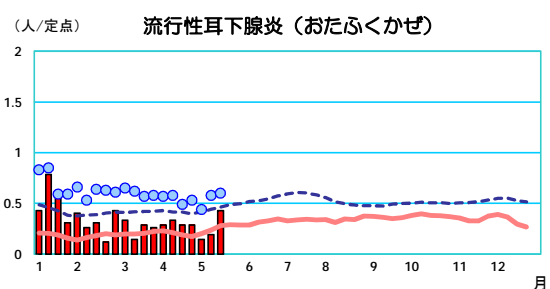
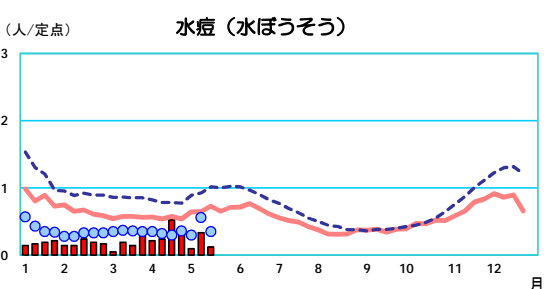
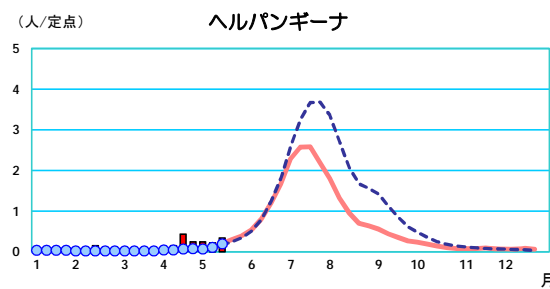
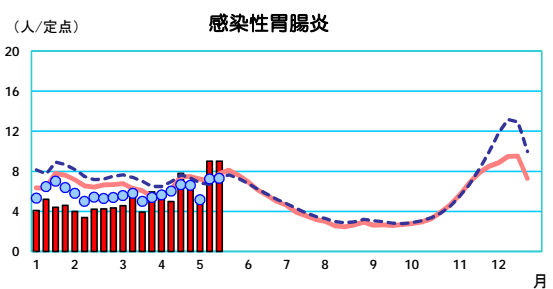
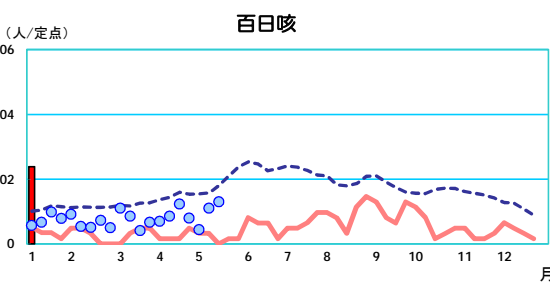
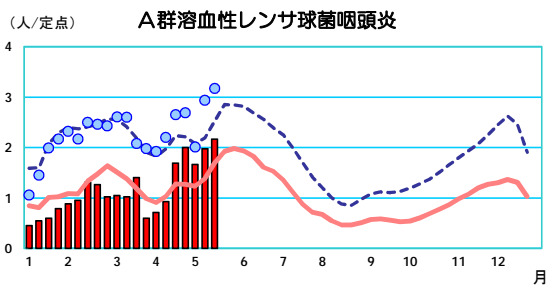
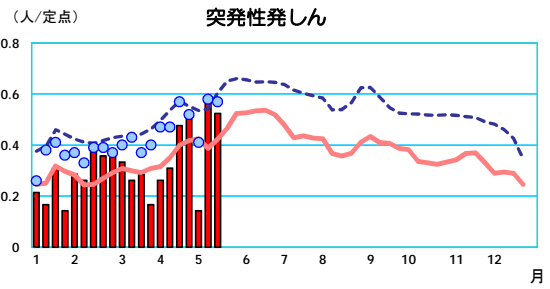
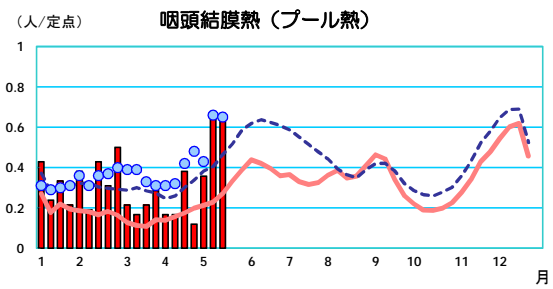
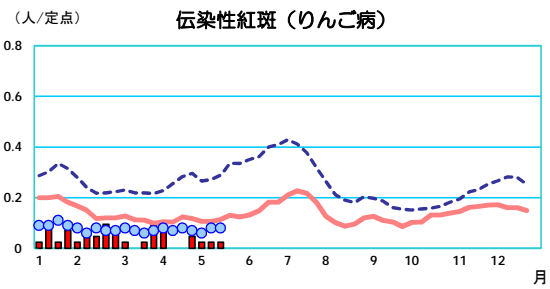
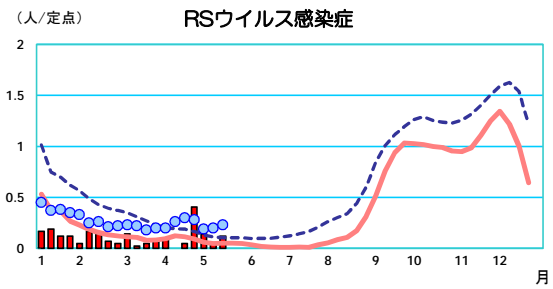
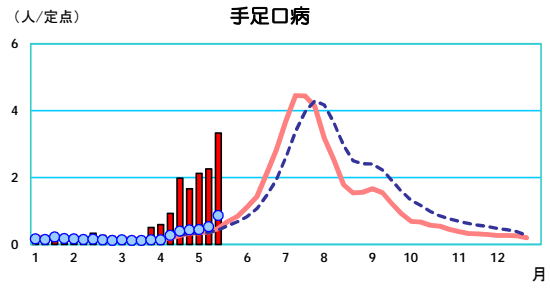
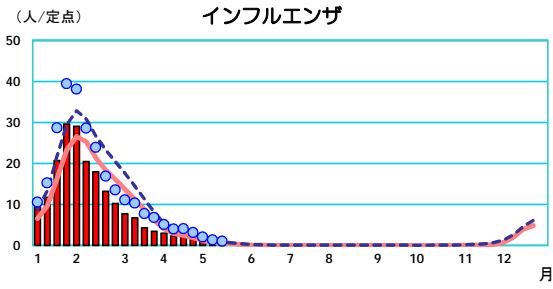
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.32	22
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9.02	379
	② 手足口病	3.33	140
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.17	91
	④ 咽頭結膜熱	0.64	27
	⑤ 突発性発しん	0.52	22
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<後天性免疫不全症候群>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年5月24日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



## 第20週(5月15日～5月21日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、毎年四半期ごとのAIDS患者・HIV感染者数を公表しています。本市では、平成29年1月から3月までの間、AIDS患者\* 2例、HIV感染者\*\* 1例の計3例の報告がありました。(平成29年5月29日公表 下記URL参照)

昭和62年以降の累積報告数は305例(AIDS患者 100例(32.8%), HIV感染者205例(67.2%))となっています(表1)。推定感染経路では、性行為感染が232例で、全体の76.1%を占めています(図1)。特に、同性間の性行為感染が134例と最も多く、全体の43.9%を占めています。診断時の年齢階級別では、20歳代～30歳代の若年層が約6割を占めています(図2)。

京都市では、各保健センターで実施していた昼間検査を、平成29年4月から、利便性が高く、利用者の多い下京保健センターに集約化し、週4回実施するとともに、夜間検査を月2回から毎週実施、医療機関で委託実施している土曜検査を月2回から、土日検査として月4回に増やしました。さらに、これまで昼間検査のみで実施していた性感染症検査を夜間・土日検査でも実施するなど検査の充実を図りました。早期発見により感染の拡大防止に結びつくことから、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に御利用ください。

なお、推定感染経路の集計において、従来の項目「性行為(不明)」を、平成29年1月から「感染経路不明」にまとめています。

\* AIDS患者 :AIDSと診断されて発症が届けられたもの(すでにHIV感染者として報告されているものがAIDSを発症する等病状に変化を生じた場合は除く。)

\*\* HIV感染者 :HIVに感染し、無症候性キャリアとして報告されたもの、または何らかの症状はあるがAIDSの診断基準を満たさないもの

### 【京都市のエイズ・性感染症に関する情報・相談について】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/36-6-2-0-0-0-0-0-0-0.html>

### 【エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者について(京都市広報資料)】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000136959.html>

表1 年次別報告数の推移(京都市)

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
昭和62年～平成24年	238	78	160	220	18
平成25年	19	5	14	18	1
平成26年	15	4	11	12	3
平成27年	14	6	8	14	0
平成28年	16	5	11	16	0
平成29年(1～3月)	3	2	1	3	0
総計	305	100	205	283	22

図1 京都市の推定感染経路別の報告割合(昭和62年～平成29年3月)

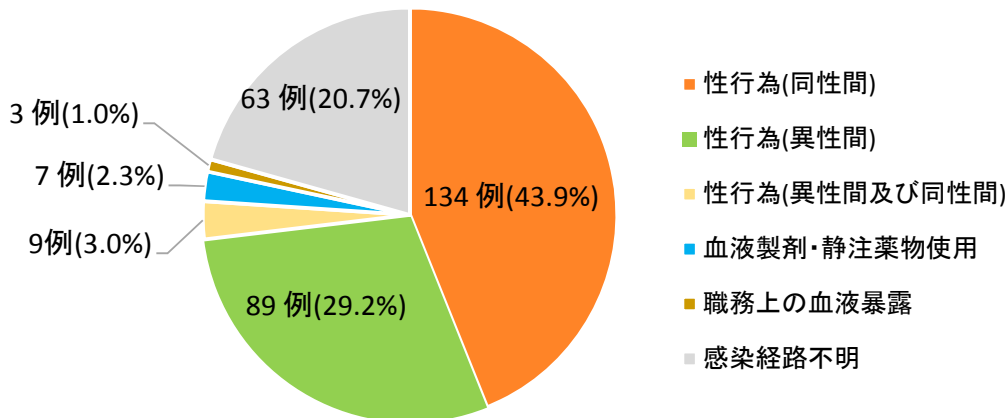
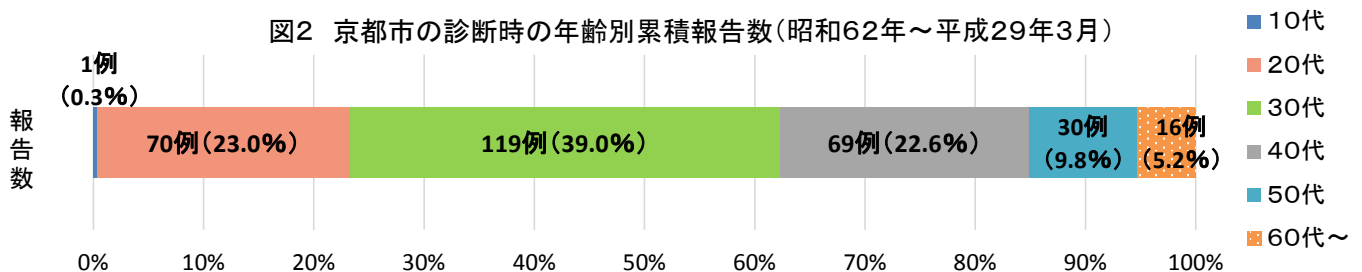


図2 京都市の診断時の年齢別累積報告数(昭和62年～平成29年3月)



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第20週

疾病,行政区別報告数

平成29年5月15日～平成29年5月21日

データ入手日:平成29年5月24日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	1	-	-	1	4	-	3	-	-	-	1	1	-	-						
上京	1	1	1	4	10	-	10	-	1	-	1	1	-	-						
左京	11	-	6	2	58	2	11	-	4	-	-	1	-	-						
中京	-	-	-	6	17	-	9	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2	-	-	2	24	-	8	-	1	-	-	-	-	-						
山科	1	-	3	5	16	2	7	-	2	-	1	2	-	3						
下京	-	-	-	3	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-						
南	3	-	2	9	26	-	15	1	1	-	4	2	-	-						
右京	1	2	7	30	83	-	29	-	4	-	-	5	-	-						
伏見	2	-	4	17	77	1	24	-	5	-	-	4	-	-						
西京	-	2	4	12	61	-	22	-	2	-	4	2	-	-						
京都市計	22	5	27	91	379	5	140	1	22	-	14	18	-	3	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定数当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.14	-	-	0.25	1.00	-	0.75	-	-	-	0.25	0.25	-	-						
上京	0.20	0.33	0.33	1.33	3.33	-	3.33	-	0.33	-	0.33	0.33	-	-						
左京	1.57	-	1.50	0.50	14.50	0.50	2.75	-	1.00	-	-	0.25	-	-						
中京	-	-	-	2.00	5.67	-	3.00	-	0.67	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.67	-	-	1.00	12.00	-	4.00	-	0.50	-	-	-	-	-						
山科	0.14	-	0.75	1.25	4.00	0.50	1.75	-	0.50	-	0.25	0.50	-	3.00						
下京	-	-	-	1.50	1.50	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-						
南	0.60	-	0.67	3.00	8.67	-	5.00	0.33	0.33	-	1.33	0.67	-	-						
右京	0.13	0.40	1.40	6.00	16.60	-	5.80	-	0.80	-	-	1.00	-	-						
伏見	0.18	-	0.57	2.43	11.00	0.14	3.43	-	0.71	-	-	0.57	-	-						
西京	-	0.40	0.80	2.40	12.20	-	4.40	-	0.40	-	0.80	0.40	-	-						
京都市計	0.32	0.12	0.64	2.17	9.02	0.12	3.33	0.02	0.52	-	0.33	0.43	-	0.30	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第20週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年5月15日～平成29年5月21日

データ入手日:平成29年5月24日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	22	-	1	-	1	1	-	3	3	2	-	1	2	1	-	-	4	2	-	1	-	
RSウイルス感染症	年齢3	5	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		27	-	5	9	5	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		91	-	-	3	8	13	17	10	10	8	6	3	7	-	6	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		379	6	38	69	41	31	32	25	27	11	13	5	37	12	32	-	-	-	-	-	-	-
水痘		5	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		140	2	26	82	23	2	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		22	-	6	15	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		14	-	2	7	1	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		18	-	-	2	-	3	3	3	-	2	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

### 年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.32	-	0.01	-	0.01	0.01	-	0.04	0.04	0.03	-	0.01	0.03	0.01	-	-	0.06	0.03	-	0.01	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.12	0.02	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.64	-	0.12	0.21	0.12	0.12	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.17	-	-	0.07	0.19	0.31	0.40	0.24	0.24	0.19	0.14	0.07	0.17	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		9.02	0.14	0.90	1.64	0.98	0.74	0.76	0.60	0.64	0.26	0.31	0.12	0.88	0.29	0.76	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.12	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		3.33	0.05	0.62	1.95	0.55	0.05	0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.52	-	0.14	0.36	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.33	-	0.05	0.17	0.02	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.43	-	-	0.05	-	0.07	0.07	0.07	-	0.05	0.05	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第20週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年5月24日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		158	155	177	71	45	22
RSウイルス感染症		-	2	17	6	2	5
咽頭結膜熱		7	16	5	15	28	27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		39	71	84	70	83	91
感染性胃腸炎		209	327	287	227	378	379
水痘		10	22	13	4	14	5
手足口病		39	83	70	89	95	140
伝染性紅斑		-	-	2	1	1	1
突発性発しん		13	20	22	6	24	22
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		6	18	10	10	9	14
流行性耳下腺炎		14	12	12	6	8	18
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		8	7	3	2	6	3
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		503	733	702	507	693	727

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		2.29	2.25	2.57	1.03	0.65	0.32
RSウイルス感染症		-	0.05	0.40	0.14	0.05	0.12
咽頭結膜熱		0.17	0.38	0.12	0.36	0.67	0.64
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.93	1.69	2.00	1.67	1.98	2.17
感染性胃腸炎		4.98	7.79	6.83	5.40	9.00	9.02
水痘		0.24	0.52	0.31	0.10	0.33	0.12
手足口病		0.93	1.98	1.67	2.12	2.26	3.33
伝染性紅斑		-	-	0.05	0.02	0.02	0.02
突発性発しん		0.31	0.48	0.52	0.14	0.57	0.52
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.14	0.43	0.24	0.24	0.21	0.33
流行性耳下腺炎		0.33	0.29	0.29	0.14	0.19	0.43
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.80	0.70	0.30	0.20	0.60	0.30
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		11.11	16.54	15.29	11.56	16.54	17.33

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。